



中央区役所

中央区 自治協議会だより

第36号

令和8年3月1日発行

発行:新潟市中央区 自治協議会だより編集部 電話:223-7023(地域課内)



自治協議会とは?



住民と区役所が協働してまちづくりに取り組むため、地域などから選出された委員により、地域課題の解決や情報の共有などに努めています。

部会の紹介

第10期では、どんな活動をしているの?

中央区区ビジョン基本方針の「目指す区のすがた」の4つの柱に基づいた分野ごとに、4つの部会が活動しています。

第1部会

『「いがた2km」の賑わい創出を後押し！
「いがた2kmシェアサイクル」の利用促進に取り組みます』

分野 賑わい創出・交流人口・都市機能

第1部会では、まちなかの賑わい創出・交流人口の拡大を考えたうえで『「いがた2km」に着目しました。

『「いがた2km」の活性化を目的として、「いがた2kmシェアサイクル」の利用状況の調査・分析、



▲シェアサイクル乗車体験の様子

乗車体験や運営事業者との意見交換などを通して、シェアサイクルの利用促進策の提案やハマベリング!!!などのイベントとタイアップしたPR活動に取り組みます。



海藤委員



▲新潟駅前通のポート

第2部会

協働～子どもたちと共に考える～

分野 協働・子育て・教育・健康・福祉・防災・防犯・生活環境



▲第2部会委員

第2部会の所管分野は幅広く、さまざまな課題が存在します。課題解決には、未来を担う子どもたちの意見を聴きながら一緒に考えていくことが重要だと考えます。



上之山委員

また、地域の担い手不足も問題となっています。第2部会では、子どもたちが地域について考えるきっかけとなる取り組みを検討しています。

子どもたちの可能性は無限大！子どもたちと共により良い中央区を目指していきます。

第3部会

市民が集える水辺空間が欲しい！

分野 水辺・緑化

- ◆新潟市は国内初の「ラムサール条約湿地都市認証」都市！
- ◆ラムサール条約都市推進プロジェクト・チームの設置！
- ◆「国際湿地都市NIIGATA」のロゴマークも誕生！
- ◆2026年秋「世界湿地都市ネットワーク市長会議」が新潟市で国内初開催！！

国際湿地都市NIIGATAを市内外に発信する動きが加速しています。

第3部会は、この機運を捉えて、市の施策に連携した取り組みができないか話し合いを進めています。

また、鳥屋野潟の認知度向上を目指し、第9期で取り組んだ鳥屋野潟の活用・魅力発信についても引き続き取り組んでいきます。



▲上空から見た鳥屋野潟



▲鳥屋野潟を視察する様子



国際湿地都市 NIIGATA



渡部委員

第4部会

親子で遊びながら学び、誰かに伝えたいくなる
中央区の魅力発見まち歩き

分野 歴史・文化・産業・まちなみ

第4部会は、子どもたちに中央区の歴史や文化、まちなみを知ってもらい、郷土愛を育んでほしいという思いを込めて、親子で楽しめるクイズや謎解きを取り入れたまち歩きを計画中です。



天本委員

昨年10月には実際に新潟シティガイドのまち歩きコースを歩き、クイズのネタになりそうな歴史的建造物などを確認してきました。



▲まち歩きの様子



▲どっぺり坂でネタ探し

子どもだけでなく、一緒に参加する大人も中央区の新たな魅力に気づき、それを誰かに教えたいくなるようなイベントになるよう、第4部会委員の知恵を総動員して企画していきますので、どうぞお楽しみに！

《広告欄》

